

# 令和元年度 第1回 函館市恵山地域審議会会議録

開催日時	令和元年7月26日 金曜日 15時00分～16時02分			
開催場所	函館市恵山コミュニティセンター 集会室			
内 容	<p>議 題</p> <p>(1) 前回の意見等の集約結果と取組状況について (公開)</p> <p>(2) 平成30年度(2018年度)事業実績について (公開)</p> <p>(3) 地域振興全般に関する意見交換について (公開)</p> <p>その他</p>			
出席委員	◎斉藤勝昭 委員 遠藤克司 委員 及川良子 委員 (◎会長 ○副会長)	○岸本静香 委員 山口イチ 委員 横手義信 委員	長田征洋 委員 渡部春枝 委員 成田 力 委員	齋藤正三 委員 鳴瀬道幸 委員 北村優和 委員 (計12名)
欠席委員	東福和彦 委員 伊藤麻美 委員	中村満幸 委員	(計 3名)	
報道関係	北海道新聞社 1名			
事務局 出席者 職氏名	恵山支所長 小笠原 聡 恵山支所地域振興課長 田中 修一 恵山支所市民福祉課長 工藤 香苗 恵山支所産業建設課長 小林 竜司 恵山教育事務所長 柴田 成 恵山病院事務長 野呂 昭浩 恵山支所地域振興課主査 伊藤 勝利 恵山支所地域振興課主査 中釜 亨 恵山支所地域振興課主任主事 坪 直也 恵山支所地域振興課主任主事 成田 勝純	(企画部 計画推進室) 計画調整課主査 田中 彩香 計画調整課主事 上戸 泰裕	(計12名)	
1 開 会 (15時00分)				
田中課長	<p>本日は、ご多用のところ、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。皆様お揃いになりましたので、令和元年度第1回函館市恵山地域審議会をはじめさせていただきます。</p> <p>なお、本日の会議は、地域審議会の設置に関する規程第8条第5項の定めによりまして、公開としております。</p> <p>はじめに、会議の開会にあたりまして、当審議会の斉藤会長より、ご挨拶をいただきましたきたいと存じます。よろしく申し上げます。</p>			

2 あいさつ	
齊藤会長	<p>本日は、委員の皆さまには大変お忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。</p> <p>7月に入っても朝晩は肌寒い日が続いておりましたが、浜では昆布漁が本格的な時期を迎え、小中学校も夏休みに入り、暦のうえでは大暑を過ぎております。季節は夏真っ只中でございます。</p> <p>さて、本日の議題は平成30年度の事業実績の報告と地域振興全般に関する意見交換となっております。本地域審議会も、残すところ、本日を含め3回となりましたが、委員の皆さまの忌憚のないご意見、ご提言をお願いいたしまして、開会のあいさつとします。ありがとうございます。</p>
新委員紹介	
田中課長	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>ここで、地域審議会の委員に変更がありましたので、ご紹介いたします。</p> <p>恵山小学校PTAから推薦をいただいております一家景委員が退任され、後任として、えさん小学校PTA監査の伊藤麻美さんが委員になられております。なお、伊藤委員は本日所用により欠席されております。</p> <p>以上、ご報告させていただきます。</p>
職員紹介	
田中課長	<p>次に4月の人事異動により、事務局の職員に変更がございましたので、紹介させていただきます。</p> <p>はじめに、小笠原支所長です。</p>
小笠原支所長	<p>委員の皆様、お疲れさまでございます。今年度の第1回地域審議会の開催にあたりまして、一言お礼とご挨拶を述べさせていただきたいと存じます。</p> <p>本日出席の委員の皆様におかれましては、常日頃より、町会活動をはじめ、福祉や教育、そして防災などの活動の先陣に立たれまして、当地域のまちづくりにご尽力賜り、この場をお借りし深く感謝申し上げます。</p> <p>さて、地域審議会も平成16年の合併を機に、ここまで数えきれないほどの論議を重ねてまいりました。15年目に入りまして、いよいよ総括の年となったところでございます。この間、委員の皆様からは、当地域が掲げました合併建設計画の執行管理につきまして、さまざまなご意見やご提言を頂戴してきたところでございますが、少子高齢化が急激に加速し、これからの福祉や教育施策が問われますなか、近年、基幹産業であります水産業におかれましては、海洋環境の変化に伴う資源の減少とともに担い手の問題も含め、なかなか持続可能な産業としての不安も懸念される所です。</p> <p>さらに人口減少が進むなか、直面する課題等に関しましても、地域一丸となって取り組んでいかなければならないものと考えておりますが、今後地域の活性化に向けまして、我々行政といたしましても様々な機会をとらえながら、地域住民の意見を十分にお聞きし、恵山地区の発展ひいては当市函館の発展に結び付けてまいりたいと考えております。</p> <p>最後になりますが、本日の会議が実りあるもので、また、皆様から忌憚のない、自由闊達な意見が出ることをご期待申し上げて、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>

田中課長	次に、市民福祉課の工藤課長です。
工藤課長	皆様こんにちは。市民福祉課の工藤と申します。 窓口職場ですので、元気な地域の皆様が気軽にお越しいただけるような窓口づくりを心がけてまいりたいと思っております。皆様のいろいろな意見もお伺いしたいと思っております。 本日もどうぞよろしくお願いいたします。
田中課長	また、本日の審議会に企画部から職員が出席しておりますので、ご紹介いたします。 企画部計画推進室計画調整課の田中主査です。 同じく上戸主事です。 それでは、これより会議を進めて参りますが、進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、斉藤会長にお願いいたします。 斉藤会長よろしくお願いいたします。
<b>3 出席委員の報告</b>	
斉藤会長	それでは、次第の3、出席委員の報告についてですが、本日の出席委員は14名中11名と、過半数を超えていますので、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により、会議は成立していることをご報告いたします。
<b>4 議題</b>	
斉藤会長	次に、議題の(1)「前回の意見等の集約結果と取組状況について」事務局から説明させます。
田中課長	それでは、「前回の意見等の集約結果と取組状況について」ご説明させていただきます。右上に資料1と記載されている資料をご覧ください。 平成30年度第4回恵山地域審議会を今年の3月26日に開催しております。その場での意見・要望でございます。 まず1番上から、成田委員からのシカの関係ですけれども、「2月ごろシカの猟を銃でしていた人がいた。道路から撃ってはいけないことになっているので、関係機関に周知をしていただきたい」というご意見がございました。 これについては、当日も回答しておりますけれども、その後の取り組み状況ですね、意見・要望事項として関係部局を通じ、関係団体へ連絡して、注意喚起を図っているところです。 2番目ですけれども、長田委員から防災に関係する部分で、「地域会館が避難所になった場合、毛布が10枚程度しか用意していないので、増やした方が良いのではないか」というご意見をいただきました。 取組状況ですけれども、災害備蓄品であります飲料水と毛布については、災害種別ですとか収容人数、保管スペースも考慮しながら、現在検討を行っているところでございます。8月中を目途に見直しを終えたいと思っております。

1番下ですが、鳴瀬委員から「国道278号、サンタロトンネルからセブ  
ンイレブンまでのバイパスの路面状況がひどい」というご意見をいただい  
ておりました。

取組状況ですが、国道を所管しております開発建設部に要請を行ったとこ  
ろ、本年の6月に中浜町と日ノ浜町の一部において、オーバーレイが実施さ  
れたところでございます。

次のページ、鳴瀬委員から「4年に1度くらいは、市長に地域審議会に出  
席してもらい、地域の声を直接聞いてほしい」という意見がございました。

取組状況なんですけれども、所管部局の方からは、各地域審議会に市長が  
出席するという事は、なかなか難しいとお聞きしておりますけれども、市内  
で活動を行っている様々な団体などと市長が、まちづくり全般について意見  
交換を行う「タウトーキング」を行っておりますので、ご活用いただきたい  
と思います。

最後ですが、一家委員から「道の駅にパンフを置くなど、大沼から車で来  
函する観光客に対してPRして欲しい」というご意見がございました。

取組状況ですけれども、東京や札幌の事業者から恵山の登山ツアーや恵山  
に関する問い合わせがあるなど、この間のPRによって一定程度の効果があ  
ったものと考えております。今年の前には、函館市観光案内所や戸井、  
榎法華、南茅部の温泉施設、道の駅などに恵山の資料を配布しておりますほ  
か、レンタカー事業者やタクシー事業者にも資料を配布して、恵山のPRを  
行ってまいりました。今後も恵山へ足を運んでいただくようにPR活動に取  
り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

斉藤会長

ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご質問・ご意見等はありませんか。

(「なし」の声)

それでは、議題の(1)を終わらせていただきます。

次に議題(2)「平成30年度事業実績について」に入らせていただきます。  
事務局から説明をお願いします。

田中課長

それでは、「平成30年度事業実績について」ご説明させていただきます。  
右上に資料2と記載されている「事業実績一覧」をご覧ください。この資  
料は、合併建設計画などの中で、平成30年度に予算化された事業の実績を  
一覧としてまとめた資料でございます。

それでは、1ページの事業実績総括表をお開き願います。資料の見方でご  
ざいますが、左の列は、合併建設計画の5つの基本目標にかかる主要施策を  
記載しており、それぞれ、右側に「総額」、「全地域にわたるもの」、「恵  
山地域に関わるもの」の予算額と実績額を記載しております。なお、下の欄  
外に注釈を記載しておりますが、「全地域にわたるもの」につきましては、  
東部4地域を含めた函館市全域に共通する事業となっております、「総額」  
につきましては、「全地域にわたるもの」と恵山地域、そして記載はして  
おりませんが、函館、戸井、榎法華、南茅部の各地域の合計額となってお  
ります。

恵山地域に係る事業費につきましては、右側の欄の一番下になりますが、予算額1億645万1千円に対しまして、実績額は1億268万1千円となっております。

主要施策ごとの事業と実績額につきましては、2ページから5ページにわたって記載しておりますので、それぞれ担当課より順次ご説明させていただきます。

まず、私からは、地域振興課の所管分につきまして、ご説明させていただきます。

はじめに、3ページをお開き願います。基本目標2の「安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」のうち、(3)「交通・情報ネットワークの形成」の「その他関連事業の推進」でございますが、一番右の欄に記載しておりますとおり、実施事業は「地域内交通確保対策事業」でございます。この事業につきましては、地域振興課のほか、市民福祉課と教育委員会が所管しているバスの運行事業でございます。

実績の内訳ですが、地域福祉バスの運行経費が488万8千円、恵山病院送迎バスが685万6千円、つつじ保育園の園児送迎バスが777万4千円、スクールバス運行経費が1,544万円となっております。

また、最後の福祉バス購入事業につきましては、支所の福祉バス1台を更新したもので、購入費が1,669万8千円となっており、合計5,165万6千円となっております。

地域振興課からは、以上でございます。

工藤課長

次に、市民福祉課関連部分につきましてご説明いたします。

資料の4ページの(5)生活環境の整備充実中「合併処理浄化槽の設置促進」の実績でございますが、平成30年度の恵山地域の補助申請は0件ございました。

次に同じページの下段 3 やさしさとぬくもりのあるまちづくり(3)高齢者福祉の推進中、「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システムの整備」の実績でございますが、恵山地域におきましては新規設置が18台、撤去が20台ございまして、平成30年度末の設置数は、128台という状況となっております。

次に5ページをお開き願います。5 連携と交流によるまちづくり(1)住民参加の推進のうち、「その他関連事業の推進」でございます。こちらは恵山市民センター整備事業に係る決算ですが、平成30年度におきましては、大型の改修工事はなかったため、実績はございませんでした。

なお、合併建設計画には掲載されておきませんが、高齢者福祉に関しまして、恵山福祉センターの源泉に設置している、温泉の汲み上げポンプの交換および貯湯タンク等の清掃を9月上旬に実施することで準備を進めております。福祉センターの休館期間は2週間を予定しておりますが、具体的な日程等が決まりましたら、広報や防災無線でお知らせします。なおこの間も市民センターは利用できます。

ご不便をおかけしますが、安定した温泉供給のために必要なメンテナンスですので、ご理解賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

市民福祉課からは、以上でございます。

小林課長

産業建設課関係の平成30年度事業実績につきまして、資料に基づきご説明いたします。

資料の2ページをご覧ください。1. 多様で力強い産業を振興するまちづくりの、(2)水産業の振興の、漁港の整備についてでございますが、北海道が事業主体の漁港に関する機能保全事業に対する市の負担金として支出しているものであり、大澗漁港の道路補修工事として268万8千円となっております。

次に、漁場の造成(コンブ・ウニ・ふのり・天然のり)について、こちらも北海道が事業主体のコンブ礁設置事業に対しての市の負担金として支出しているものであり、日浦工区において、コンブ礁5セットの設置事業が実施され、実績額としては895万4千円となっております。

次に、ウニ・アワビ種苗等放流について、でございます。えさん漁業協同組合が事業主体で行っております、ナマコ種苗放流事業とウニ種苗深浅移殖放流事業に対する市の補助金となっております、ナマコ種苗放流事業につきましては、事業量として7万5千個の種苗放流を行っており、事業費450万円に対し、補助率2分の1の225万円の実績でございます。

ウニ種苗深浅移殖事業については、180万個のウニの移殖放流を行っております。内訳としましては、日浦地先10万個、尻岸内地先60万個、古武井地先20万個、恵山地先45万個、恵山御崎地先45万個となっております。事業費2,849万円に対し、補助率10分の3の854万7千円の実績額となっております。

そのほかウニ種苗生産供給事業ですが、これは恵山ウニ種苗センターに係る運営経費となっております、実績額として1,425万9千円となっております。なお、実績額が予算額を34万4千円と若干上回っておりますが、これは光熱水費が予算額を超過したことによるものです。

続きまして、漁業用機械等購入資金の融資について、漁業用機械等購入資金貸付金として、函館市全地域にかかる実績額5,500万5千円のうち、恵山地域分の実績としましては、6件で1,040万円が融資されております。

次に、漁業後継者対策についてでございます。これは漁業資格取得補助として、漁業者に対し小型船舶操縦士(1級・2級)の免許取得費の一部として、1/2以内かつ3万円を上限に費用を補助する制度であり、函館市全地域にかかる実績額15万円のうち、恵山地域分としましては1名で3万円の実績となっております。

その他関連事業の推進についてですが、水産多面的機能発揮対策事業として、えさんの海を豊かにする会が事業主体の藻場保全活動に対する市の負担額として56万3千円となっております。なお、前年度と比較して868万1千円と大きく減額しておりますが、これは、昨年度漁業用流通施設整備事業として、えさん漁協が事業主体で行いました製氷貯氷施設整備事業の市補助額875万円が減額となった為であります。

続きまして、(3)農林業の振興の市有林等の整備についてですが、柏野町にあります市有林の下刈や皆伐を行い、245万4千円の実績となっております。

次に、資料の3ページをご覧ください。(5)観光の振興の各種イベントの支援についてですが、昨年5月に行われた恵山つつじまつりおよび今年2月に行われた恵山ごっこまつりの開催負担金として、それぞれ250万円、

30万円となっております。

続いて、資料の4ページをご覧ください。(5)生活環境の整備充実、公園・緑地等の整備についてでございますが、つつじ公園に隣接する前山を含む、周辺の草刈業務等を継続して実施しており、事業費343万5千円の実績となっております。

添付の「資料3」でございますが、恵山支所管内・主要魚種水揚げ資料について、簡単にご説明いたします。資料をご覧ください。

恵山支所管内の主要な魚種の水揚げ状況を平成28年度から平成30年度の3ヶ年で記載をしております。右側から2欄目太線で囲っている欄が、平成29年度との比較を表しており、主要魚種の数量比では、「ぶり」「ほっけ」「ほていうお」「うに」「なまこ」「促成まこんぶ」「天然まこんぶ」などが水揚げ増となっております。

一番下の【参考】欄では全体での比較を表しており、平成28年度との比較では数量・金額ともに前年を上回っているところではありますが、平成29年度と比較しますと数量・金額ともに若干減少していることから、漁模様は昨年のレベルまでは達せず、一服模様となっております。

次のページにつきましては、おもな魚種の水揚げ数量の状況をグラフ化したものとなっております。説明については、省略させていただきます。

産業建設課の関係分については以上でございます。

柴田所長

教育事務所の関連事項についてご説明いたします。

お手元の資料の5ページをお開きください。4 いきいきと学び地域文化を育むまちづくりにおける(1)生涯学習の推進のその他関連事業の推進についてでございます。右の実績額の内訳についてご説明申し上げますと、生涯学習関係経費は、恵山ふれあいいきいき大学、新春書き初め会、恵山地区文化祭開催の関係経費として、7万3千円となっております。

また、体育振興関係経費は、小学生を対象とした水泳教室、バドミントン教室、ミニバレーボール大会、一般の方を対象とした冬季ゲートボール大会の開催関係経費として、計24万1千円となっております。

以上でございます。

野呂事務長

恵山病院の事業実績につきましてご説明いたします。

資料の4ページをお開きください。3 やさしさとぬくもりのあるまちづくり(1)保健・医療の推進の「医療機器の購入ほか」でございます。

現在、病院では医療機器の整備・更新に際し、購入ではなく5～7年のリース形式で行っております。資料にお示しした金額につきましては、これまでに導入した医療機器等に対しての1年間に支払うリース料の合計となっております。30年度の決算金額ですが、507万5千円ということで、29年度と比較しまして243万円の増となっております。

毎年、順次機器の更新を行っておりますが、30年度に更新した主なものにつきましては、老朽化したストレッチャー4台の更新と安全性の向上のため、これまで1台ごとに個別に調整しておりました透析液を一括で調整できる装置を更新したものであります。

以上でございます。

斉藤会長	各担当課から説明がございましたが、ただいまの説明について、ご質問・ご意見等は、ございませんか。
長田委員	水産業の振興，漁業用機械等購入資金の融資について，全体でどれくらいの予算がついているのか。1億くらいか。
小林課長	全体の予算ですが，平成30年度で申しますと1番左側の数字9，000万円となっております。本年度についてもその程度かなと。
長田委員	わかりました。
斉藤会長	他にございませんか。 それでは議題の（2）を終わらせていただきます。 次に，議題の（3）「地域振興全般に関する意見交換について」に入らせていただきます。 初めに，事前に質問事項などをお聞きしましたが，遠藤委員から発言の申し出がありますので，遠藤委員よろしくお願いします。
遠藤委員	<p>東部地域で実施している外出支援サービスについて，お伺いしたく質問等の連絡票を提出させていただきました。</p> <p>前段に，なぜこういう質問をしたかという事についてちょっとお話をしてみたいと。</p> <p>毎月，民生児童委員協議会が開催されています。そこで，意見交換ということで各委員から課題がそれぞれ出されます。その中で，ある委員から担当地域に住む一人暮らしの高齢者の方が悩んでおり，相談があったという報告がありました。</p> <p>それは，「ある朝起きたら突然目が真っ赤になっていた。そこで，なんとかして眼科に行きたいが，一人暮らしで車も持ってない，どうしたらよいか？」と，その民生委員の方に相談にみえたということでもあります。それと「恵山病院で月1回眼科の診療があるらしいが，日程もわからない。このまま放っておいても大丈夫なのか。目が見えなくなってしまうのではないか。路線バスで旧市内に行くというの，一人では大変だし，眼科がどこにあるか場所もわからない」という状況でもあったと。</p> <p>相談された民生委員は，以前の会議のなかで社会福祉協議会が外出支援サービスというものを実施しているとの話を伺っていたので，可能かどうか含めて，社会福祉協議会に問い合わせをしたところ，「外出支援サービスはやっていますけども，対象者は車いすを有している方でないと利用できない」との返事をいただいたとのこと。制度の詳しい内容について聞かないまま，急いでいたため，そこで電話を切ったと。ただ，電話を切った後に，戸井地区では，車いすだけではなく，病院に行きたいということを事前に申し込んでいれば，送迎してもらえるサービスを実施しているという話を聞いたことを思い出したが，地域で違うんだなと理解し，当面その方をどうするかを地域の方に相談し，とりあえずどなたかに乗せてもらって，眼科まで行ったという状況でありました。</p> <p>そこで，今回の質問に至った訳ではありますが，1点目は，外出支援サービスが，どういう風にすれば利用できるのか，制度の内容について詳しくお知</p>



らせいただきたいなと思います。

それと、もう1点、第8次函館市高齢者保健福祉計画を平成30年3月に作って配布されておりますが、その中で、東部地域では外出支援サービスをやっていますと実績報告がなされています。ちなみに、平成27年度は4地区で3,762人、28年度で3,796人。ざっと計算しても、休みを除くと240日近い営業日数があるわけですが、単純に計算しても毎日14,5人がどこかの地域で利用していることとなります。単純計算しますとね。それで、できれば4地区毎にどのくらいの利用者数があるものなのか、特に恵山地区でどのくらい利用されているのか含めて、お知らせをいただければなと思います質問しました。よろしくお願いします。

工藤課長

まず、東部地区外出支援サービスの内容、対象者などについて説明しますが、このサービスは、東部地区、戸井から南茅部までの間に居住し、寝たきり、または車いすを利用しているという条件で、あとは65歳以上の方々、公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、お住まいから医療機関等への送迎を行っているものです。

ただ、先ほど遠藤委員がおっしゃってございましたけれども、事前に申請を市に出していただきまして承認を受けた方について、市の委託を受けました社会福祉協議会がその送迎を担っている形になっております。

対象は、先ほど申し上げたとおり、寝たきりか車いすと申し上げましたけれども、自力での歩行が困難なために車いすを使わないと外出できないという方を対象としておりまして、対象となる医療機関は、各支所の管内というのが基本的なサービスの内容です。恵山支所管内であれば、恵山病院が送迎先となります。

ただし、戸井地区、戸井支所の管内におきましては、市町村合併が行われる前に、戸井町立診療所を廃止しております。その廃止した時の条件で、旧函館市内と戸井支所管内も送迎できますという独自の条件を設けており、合併時にもそのまま引き継いで現在に至っているということです。これとは別に、椴法華支所においても東部地区外出支援サービスのほかに、65歳以上で自力での通院が困難な方を対象に椴法華支所管内の医療機関等への送迎を椴法華支所で独自に行っております。

以上が、東部地区外出支援サービスの内容と対象者でございます。

次に、2点目の平成30年度の実績についてのお尋ねですけれども、30年度につきましては、サービスを受けた総数が3,129件でした。そのうち、恵山支所の実績が136件です。

参考までに、戸井支所は1,577件、椴法華支所が1,329件、うち管内への身体的な条件を取り除いた場合の送迎が1,284件、南茅部支所管内では87件となっております。

以上でございます。

遠藤委員

質問しました制度の件について、本当に詳しく説明していただき、概ね理解をしました。

ここからは要望でございます。今お話しを聞いた戸井地区は合併前の制度をそのまま引き継いだということですから、それは理解しましたけれども、今後において、恵山地区はもとより、函館市全体でも少子高齢化がなお一層進展していきます。人口減少も加速化すると。2025年には、2015年

から比べて30何パーセントも減る、16万人、17万人くらいになると予測されているようですから、大変な状況になるのではないかと考えています。

特に、合併旧4町村は、人口減少がなお一層進んで、このままで行きますと、人口の50パーセント以上が65歳以上、限界集落と言われてはいますが、そういう状況になっていくのではないのかなと。間近に迫っているのではないのかなと理解しています。現時点で人口減少に歯止めをかける特効薬というものはない訳でありますから、これは函館市ばかりではなく日本全国そんな状況で進んでいくという事ですから、大変な状況になると思います。それでも今私たちが住んでいる地域というのは、離れられないというか、ここで長く住んでいきたいと、私たちの住むまちが安心して安全で住み続けたいと願っていたわけですが、ただ行政一方だけのサービスを求めるわけではなくて、そこに住む地域の人たちが、ともに助け合って、支えあって、そして行政サービスと融合させて、元気で住み続けるまちをつくっていかねばならないと考えております。

今回4月に選挙があって、幸いにして市長も日本一の福祉都市を目指す、そして地域包括ケアシステムの確立を目指すんだと、強く明言していますので、そういった面では安心はしていますけれども、今後も人口の減少が続く訳ですから、一人暮らしの高齢者の増加や昨今何かと話題の多い高齢者の交通事故、自動車事故が増えている。運転免許証の返上ともなれば、移動手段が奪われるということが明らかになっていますので、まあ路線バスが有りませうけれども、路線バスだって利用者が少なくなればいつまで函館バスが運行するのか先行き不透明な状況だと思います。

長々申し上げましたが、先ほど言いました外出支援サービスについて、車いす等の利用者だけではなくて、サービスの拡大、拡充をしていただければ、大変ありがたい、まあ恵山支所で結論は出ないでしょうから、ぜひ本庁部局へ緊急支援をしていただけて、よろしくお取り計らいくださって、我々がいつまでも住み続けるまちにさせていただければ、大変ありがたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。答弁は要りません。

工藤課長

恵山支所管内においても、送迎サービスの拡充を望むという事でございますので、特に高齢化が進んでいる現状も充分認識しておりますので、地域の声として、その要望を担当部局の方に伝えさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

斉藤会長

他に何かご質問ありますでしょうか。

鳴瀬委員

遠藤委員の質問に関連して、外出支援サービスということに関して、一般の住民がどれだけ知っているか。認知度が本当にあるのか。ないのか。例えば、民生委員さん、町内会の役員さん方々にも外出支援サービスについて、住民にももう少し理解してもらおうとか、そういう方法をした方がもっと活用できるのではないかとと思うのだけど、それについてお答えをお願いします。

工藤課長

そのサービスの内容について、もう少し周知を図るべきじゃないか、ということでございますけれども、そうですね、持ち帰らせていただきますけれども、今後庁内で検討して、皆様に広く認知されるように工夫していきたいと思っておりますので、少々お時間をください。よろしくお願ひします。

齊藤会長	他にございませんか。
及川委員	成田委員が3月にシカの要望をしておりましたけれども、恵山の方ではシカのワナをかけて60何匹捕獲したとお聞きしておりましたが、日ノ浜地区、高岱地区も前と変わらないだけのシカが出ております。それで、なんとか恵山だけではなくて、各地域で捕獲できるような予定はこれからございませんでしょうか。これからの捕獲計画はございますかどうかお伺いしたいと思います。よろしく願います。
小林課長	<p>まず恵山地域で行っている捕獲事業、こちらは北海道の事業でございますので、鳥獣保護区等の規制地域における捕獲事業、いわゆる道立自然公園内では銃による捕獲ができないということですので、特別に行っている事業でございます。ですので、こちらのワナで獲るといような捕獲については、自然公園内の捕獲ということになりますので、日ノ浜地区ですとかそういう所については、残念ながら実施はできないのかなというふうに思っております。</p> <p>ちなみに実績でございますけれども、先ほど60何頭と言いましたが、正確には61頭捕獲しております。</p> <p>これに合わせて、市が春先に一斉捕獲事業としまして、ふるさと林道を開通する前に、そちらを利用して銃による捕獲を行っております。こちらが13頭捕獲しておりますので、合わせまして今年の春先は74頭捕獲しております。そのほかの地域はどうかという事ですけども、春、4月以降ですね、銃による捕獲事業、ハンターさんによる捕獲事業を行っております、こちらが6月いっぱい、6月までの事業で、今終了したところでございますが、市全体としましては、388頭捕獲したと聞いております。このうち恵山地域については92頭捕獲しているということでございますので、道立自然公園以外の地域については、こちらのような銃での捕獲事業を通じながら生息数について調査していきたいと言いますか、捕獲していきたいと考えております。どうぞよろしく願います。</p>
及川委員	ご丁寧にありがとうございました。よろしく願います。
岸本委員	前に戻るんですけども、外出支援サービス、私ももちろん知らなかったですし、ものすごいガッカリしたんですね。私がこの先20年30年経って一人暮らしになった時に、歩けたとしても誰も付き添ってもくれない、外出支援サービスも受けられない、急に熱が出て救急車呼ぶほどじゃないと私はどうするんだと。私はきっとここにはいないんだろうなって、ふと思ったんですけど。もっともっと充実しなければ、一人暮らしのお年寄りには不安だし、歩けても1人で月1回しか来ない眼科に間に合わない人は市内に出なければならぬ。なんかこんな事してたんだと。まだ私その年になっていないから実感は無くそんなに考える事もなかったんですけど、もっともっとやっぱり考えていかないと、自分がその時になったら、とてもじゃないけど不安でこの町には住めないと、歩けても、ある程度の年齢になったら、急病だったら、そういう恵山独自の、東部4地域とお揃いじゃなくても、もっと特徴のある福祉がなければ、年寄りは安心して住めないと。その辺を少し深く考えていただければなと思いました。

<p>斉藤会長</p> <p>岸本委員</p> <p>斉藤会長</p> <p>田中課長</p>	<p>答弁はよろしいですか。</p> <p>いいです。</p> <p>参考意見として聞いておいてください。 他にございせんか。 無いようでございますので、議題の（３）は、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。 続いて、次第の５「その他」に移ります。 初めに、事務局から意見を求められておりますので、これを許します。</p> <p>今日、資料を配布させていただいておりますけれども、「東部地域まちづくり懇談会の開催について」というものをお配りしておりますので、ご覧いただきたいと思っております。</p> <p>これまでも何度か地域審議会の方でもお話をさせていただきましたけれども、地域審議会の終了後における地域の皆様のご意見等をお伺いする場につきまして、この間、企画部と４支所で検討を進めてきたところであります。この度、一定程度まとまりましたので、概要について説明をさせていただきたいと考えております。では資料に沿って説明をさせていただきます。</p> <p>１番目の経過でございます。函館市では平成１６年市町村合併に伴いまして、市町村の合併の特例に関する法律に基づきまして、東部４支所に地域審議会を設置しております。この地域審議会ですけれども、令和２年３月３１日で設置期間が満了となります。これまで地域審議会では、合併建設計画の執行状況等に関する審議のほか、地域振興に関する意見交換などを行って、市に対する各地域の意見や要望をお聞きしてきたところでございます。ただ、東部４支所管内におきましては、旧市域に比べて過疎化、高齢化が進んでおり、引き続き地域振興に取り組むということが重要であると考えておりまして、地域審議会の設置期間が終了後においても、地域住民の皆様からのご意見をお聞きするという機会が必要であると考えております。</p> <p>２番目の目的というところで、そういう経過をふまえて戸井・恵山・榎法華および南茅部地域に共通する課題ですとか地域振興などについて、議論して地域のまちづくりにつなげることを目的として懇談会を開催するとしたところでございます。この懇談会なんですけれども、現在の地域審議会とは各支所に設置しておりますけれども、新たな懇談会は合併した４地域でひとつとして開催したいと考えております。</p> <p>名称につきましては、まだ仮称になっておりますけれども「東部地域まちづくり懇談会」でございます。</p> <p>開催期間ですけれども、令和２年度から６年度までの概ね５年間。</p> <p>参集対象につきましては、４支所管内の町会ですとか、福祉関係、産業経済、教育関係などの１６団体程度と想定しております。なぜ、１６団体なのかということですが、懇談会の規模という部分もあるのですが、４支所長含めて２０人程度がよいのではないかとということで、１６団体程度とさせていただいているところでございます。</p> <p>開催の頻度につきましては、時期はまだこれからになりますが、年２回くらいは開催したいと考えております。懇談事項ということで、懇談の内容なんですけれども、東部４支所地域の課題および振興に関することとしております。</p>
---	---

	<p>4地域に共通するようなことについて意見交換できればと考えております。 一応、ここまでが概要になります。今後、懇談会の具体的な、例えば参集団体、懇談会の進め方など詳細につきましては、今後改めて協議を進めていって詰めたいと考えております。ある程度まとまり次第、次回以降になるかと思っておりますので、改めて委員の皆様にお知らせしたいと考えております。 以上でございます。</p>
齊藤会長	<p>今、地域振興課長から説明がありましたが、今の説明に対してなにか参考意見などありましたら。まだこれは決定でございませぬけれども、今後こういう風にしていったらどうだろうとか。</p>
長田委員	<p>懇談会の開催は、私は良いことだと思うんだけど、4町村一括でやるということなのか。1地域で、恵山なら恵山地域で何人ぐらいの委員でいいのか、どのぐらいの予定をしているのか。</p>
田中課長	<p>まだそこまで詰めてはいないんですけども、一応16団体程度と考えておまして、必ず1地区から同じ人数という訳ではないんですけども、ある程度16人を4支所で割るとだいたい4人くらいになりますので、3人から4人というふうに今考えております。例えば、今地域審議会でもそうなんですけれども、東商工会から推薦いただいているとか、漁協から推薦いただいているとか、例えば4支所管内ですと漁協は3つ、商工会だと4つで1つとなっておりますので、そういう部分も考慮しながら、各支所どういう団体がいいのか、これから詰めていきたいと考えております。</p>
長田委員	<p>心配していることがひとつあるんですよ。私、町内会の東部の方の役員をやっているんですよ。老人クラブの東部の会長もやっているんですけども、地域地域で全然意見が違うんですよ。委員長はじめ、行政の課長さん方も相当苦勞するんじゃないか。同じ漁師町でも、働く時間も違うし、全く温度差がある。いずれにしても、そればかり言っていられないから、良い方向に進むように努力はしていかなければならないと思うんだけど、苦勞はあると思う。 人数は、4人ぐらいということは20人ぐらいということね。4町村で。委員の人ね。わかりました。</p>
齊藤会長	<p>他に何かございませぬか。 発言がないようですので、議題の「その他」を終わらせていただきます。  以上を持ちまして、本日の審議会の日程はすべて終了いたしました。 次回の開催は、11月を予定しております。日程、議題内容については、正副会長に一任願いたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。 (異議なしの声) それでは、これを持ちまして、令和元年度第1回函館市恵山地域審議会を終了いたします。お疲れ様でした。</p>
<p>閉 会 (16時02分)</p>	